

「お祝いの言葉」

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 会長

田村 綾子



公益社団法人日本介護福祉士の創立 30 周年を、心よりお祝い申し上げます。

生老病死は避けることができず、必要なときに必要なだけ、しかも良質な介護を受けられる社会を誰もが望んでいます。人工知能 (Artificial Intelligence: AI) に代替される職業は増え、ロボットが行うことのできる介護動作もありますが、コロナ禍を経て、人が人を支えることの尊さや温もりを伝えることの有用性が強く実感される昨今、高まり続ける介護ニーズを満たそうと、日本介護福祉士のみなさまが未来の介護人材の確保や、質の担保に向けて日々ご活動くださっていることに感謝と敬意を表します。私たち精神保健福祉士も、地域で生活する障害者のなかに介護を要する方たちが少なくないことを知っており、介護福祉士のみなさまとの連携にいつも心強さを感じております。今後とも協働し、いわゆる「65 歳問題」をシームレスな支援体制の構築によって乗り越えたいと考えております。

また、貴会が掲げておられる「国民が安心できる社会生活の保障」は、本協会（公益社団法人日本精神保健福祉士協会）の将来ビジョンのスローガンである「すべての人に“此ノ邦ニ生キル幸セ”を。」とも通じています。福祉士の国家資格者で構成される職能団体として、今後も連帯して取り組めることを祈念いたしますとともに、貴会の益々のご発展をお祈りして、お祝いの言葉とさせていただきます。